

# KARUIZAWA ROTARY CLUB



2019-2020年 RI テーマ

例会日 毎週月曜日 12時30分～13時30分

例会場 軽井沢プリンスホテル ウェスト

事務局 〒389-0112 軽井沢町中軽井沢9-3 軽井沢町商工会館内

TEL 0267-46-4970 FAX 0267-46-5445

RI 会長 マーク・ダニエル・マローニー RI2600 地区ガバナー 古川静男

東信第一グループガバナー補佐 山浦俊一

会長 古越道夫 幹事 小野克永 クラブ会報委員長 志立正嗣

E-mail [k-rotary@jfbn.net](mailto:k-rotary@jfbn.net) ホームページ [www.karuizawarotaryclub.com](http://www.karuizawarotaryclub.com)



## 第2531例会 2019.12.16

12;30 点鐘 会長 古越道夫君 司会進行 副幹事 今井亮君  
ロータリーソング「それこそロータリー」ソングリーダー 川本由紀恵君  
ゲスト 宮坂雅昭様、轟律夫様、宮原弘夢様、宮原京子様、大久保華琳様  
野村瞳様、松田真生様、松田弥生様、中嶋海帆様、中嶋令子様  
市川大良アラン様、市川和美様



ビジター 三宅伊智朗君 (東京中央RC)

### 《会長あいさつ》会長 古越道夫君

本日は軽井沢高校からグアム交流事業の派遣学生5名の皆さんをお招きしております。そこでロータリークラブと言うものをざっとご紹介しながら、メンバーの方も今一度と言う形でご紹介したいと思います。

ロータリークラブはアメリカで生まれまして、現在約120万人の会員、3万5千のクラブがあります。国内におきましては約8万人、2,300程のクラブがあり、日本全国34地区に分かれております。私共は長野県の地区になります。

実はグアム島は東京地区と同じエリアです。グアム島の中にも4つクラブがあります。その一つのグアムロータリークラブと言うところと交流は50年迎えております。来年3月にグアムでは交流50周年という事で式典が用意されております。年当初にグアムRC会長とお会いした時、「是非来年、50年周年は盛大にやりたい」「グアム知事公邸で式典を開きたい」とお話されました。知事公邸は小高い丘にありまして、通常一般は入れない所ですが、是非そこで催したいと予定しているようです。学生の皆さんも楽しみにして頂きたいと思っております。因みにグアムと言う地域は州ではないです。準州に属してまして、グアムの島民、いわゆるアメリカ国民は、大統領選挙の選挙権がないという地域でありまして、それも踏まえて皆さんもグアムに行って頂ければと思います。また軽井沢高校におかれましては、今色々な地域で統廃合が進んでおりますが、軽井沢高校を、当然母校として残すために皆さんのこのグアムの体験を是非、後輩にしっかり伝え頂いて、自身も短い期間ではありますが、将来のきっかけとして、又グアムで出会った人たちとの交流をチャンスにしたいと思っておりますので、期待しています。



### 《幹事報告》幹事 小野克永君

いつもこの例会場でお会いするプリンスホテルの福島さんが残念なことに今月の11日に52歳でお亡くなりになりました。皆様で黙祷をお願い致します。(黙祷)



- ★通信物＝①令和2年軽井沢町成人式開催のお知らせ  
 ②財団室ニュース 2019.12月号 ③中部小学校よりロータリー文庫寄贈のお礼状  
 ④THE ROTARIAN 2020 1月号 ⑤ハイライトよねやま 237号  
 ⑥軽井沢高原文庫通信 ★クラブ会報＝南佐久RC

《親睦委員会》委員長 佐藤敏明君

- ★12月23日(月)クリスマス夜間例会 於；プリンスホテル
- ★1月6日(月)新春夜間例会 於；万平ホテル



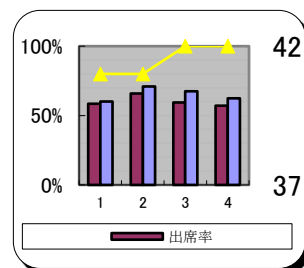
《次年度幹事より》次年度幹事 今井亮君

昨日、松本大学で次期会長の大工原さん、私でR財団補助金セミナーを受けてきました。補助金と言う事で財団から各クラブに支払って頂けるものがありますが、大きく分けてグローバル補助金と地区補助金と言うものがあります。グローバル補助金はかなり規模の大きなもので、現時点で当クラブは申請できるようなものはないという事です。地区補助金については一昨年、軽井沢高校生と室生犀星の歌碑清掃をしてその前で校歌を歌うという事業をしました。又、5年前には追分に青空図書館を作る時の費用として補助金を頂いております。次年度の事業も3月までに申請すればいいのですが、何かこういうことに使えればという事がありましたら、私の方へ助言いただければと思います。



《出席委員会》丸山裕文君

	会員数	本日出席	メイク	合計	出席率	訂正出席率
12月16日	42	24	事前メイク1	25	57.14%	62.50%



# ニコニコBOX報告

委員長 上田直人君

★グアム派遣学生を歓迎して…今井亮君、大工原巧君、佐藤崇君  
 市川保雄君、依田龍治君、秋山貴史君、遠藤孝君、横山繁君  
 丸山裕文君、古越道夫君、袖山卓也君、佐藤敏明君、甲田正昭君、尾沼好博君、佐藤俊幸君  
 千川慎一郎君、金山城太郎君、柳沢洋一君、上田直人君、佐藤好雄君



## 《 第49回派遣学生・保護者例会ご招待 》

国際奉仕委員長 川本由紀恵君

先日、選考会を開きまして厳正なる選考の結果、軽井沢高校生11名の中から今日お越しいただきました5名の方に決定させて頂きました。学生さん一人一人にご挨拶して頂きます。



【宮原 弘夢君】軽井沢高校1年1組



グアム派遣の決定通知が届いた時はとても嬉しかったです。僕はグアムに行ったら日本との違いを学び、現地の文化や価値観も一緒に学びたいです。そしてコミュニケーション能力の向上を身に付け自分を磨きたいです。  
 理由として日本との違いを知る事で、今後外国の方と話す機会が出来た時に言語力を養われた事によりこれを話すと相手も喜ぶなどと言った楽しく、充実した会話出来るようになりたいです。

又価値観とは自分が生まれ育った環境や場所によって形成されていると思うので、文化を学んでいる間に様々な価値観と一緒に学ぶ事が出来ると思います。コミュニケーション能力と言う面では、今までの海外経験からして絶対話さないといけない環境というところでしか学ぶ事が出来ないと思っているので、内面的にも成長し、自分を磨いていきたいと思っています。よくコミュニケーションとは何ですか？と聞かれることがあるんですがそれは人それぞれ考え方が違うので、何とも言えないんですが、僕が思うコミュニケーションとは相手に自分の意見を的確に伝えるにはどうすればいいか、そしてそこで思った事を相手に伝えた時の事を自分では考えています。例として、僕も実際に海外に行く機会があり、その当時は余り英語が上手に話せず、相手にちゃんと伝わっていたのが心配だったので、Do you get me ? 伝わりましたか？ 尋ねたら余り理解できていないと言われ、どうしたら伝わるか考えた時にたどり着いたのは身振り手振りを使いながら話したら、少し伝わるかと思いました。この考え方は実際成功したので、グアムでも使っていきたいと思っています。このような一寸したことから生まれるコミュニケーションからでも沢山の事を学ぶ事が出来るというのが海外の良いところだと思っているので、この貴重な機会を本当に充実した時間と考えるような海外派遣になればいいと思います。

**【大久保 華琳さん】** 軽井沢高校 1年2組

私がグアム派遣に志願した理由は2つあります。一つ目は、私は英語が好きだからです。私は小さい頃から外国の音楽や映画などをよく見ているので、海外に憧れを持ち、その頃から英語を話せるようになりたいと思っていました。

中学生の時、本格的に授業で英語を勉強して英語をもっと好きになり、将来英語を使った仕事に就きたいと今は思っています。

2つ目は、日本以外の世界を見てみたいからです。日本と外国では文化が違うし、話す言葉も違います。私は日本以外の国に住んだことも行った事も無く、グアムに行ってその文化や自分の知らない事この目で見て、知りたいです。実際にグアムに行った時には、グアムの学校生活を見てみたいのと、グアムの人々がどんな一日を送っているのか、グアムの学生とたくさん色々な話をして、海外の高校生に流行っているものやどんな音楽を聴くのかなど、色々な話をして仲良くなりたいです。日本語の通じない環境の中で人との生きた会話を通して英語を学び、英語を勉強するモチベーションに繋がりたいです。



**【松田 真生さん】** 軽井沢高校 2年2組

まず、最初に私をグアム派遣生として選んで頂きありがとうございます。私は、幼い頃から海外に興味があり、今は英語にかかわる仕事に就きたいという夢が出来ました。グローバル化が進む中、自分が日本と海外のコミュニケーションを繋げる事が出来るような人になりたいと思っています。そのために実際に、グアムに行ったら海外の授業の様子を感じながら積極的にコミュニケーションを取り、いろんな事に自ら挑戦して行きたいです。日本に帰って来てからも自分に合った勉強法を探して生かしていきたいと思っています。長所である明るさを武器に学ぶときはまなぶ、楽しむときは思いっきり楽しみます。ホームステイを通して、ただ英語のスキルを磨くだけでなく、今まで出会ったことのない様々な価値観、考え、文化を持った人々と関わり、人間的にも成長したいです。



**【中嶋 海帆さん】** 軽井沢高校 2年3組

私がグアム派遣に行きたくて何をしたいのか？と聞かれて真っ先に思い浮かぶのは「知らない土地で沢山の物に直接関わりたい」という事です。先日、私は所属している美術部の活動で長野県中の高校が集まる大きな展示会の講評会に参加してきました。



その際「これはどのように見て描いたの?」と聞かれた際に「スマートフォンで調べたものを見て描いた。」と言う人が多くいたような印象を受けました。確かに便利であるし、身近に無いものだってあります。只私はそれが少しどこか物足りなく、残念に思いました。ただその日の講評して下さい先生が「調べたものだけではなく、直接見たものを取り入れる事も大切だ」とおっしゃっていた事を覚えています。私自身もその「直接」と言う事が大切だと思いました。知らない事を何でも調べる事が出来る今を生きていますが、今回のグアム派遣においてもどのような場所なんだろう、食べ物、人々、歴史等々。自分の中の「知らない」を直接行って、見て、触れ、感じ、更に顔を合わせてのコミュニケーションを取ったりと言ったアクションを通しての「知る事が出来た」に変えたいです。きっと、直接によってより大きな何かを吸収できるはずですし、それを自信にしていきたいです。又その後も自分の中に蓄積させるだけではなく、何らかの形で自分以外に発信していきたいです。



**【市川 大良 アラン君】** 軽井沢高校1年3組

みなさんこんにちは、今日このような会を開いていただき誠にありがとうございます。僕は、軽井沢高校1年生の市川大良アランです。今回のグアム派遣では僕は頑張りたい事がいくつかあります。その一つは海洋生物を調べる事です。小さい頃から海は好きで特にサンゴ礁が好きで、そこに生息する生き物も好きです。そこでグアムはサンゴ礁が多くこの生物を調べるのにとってもいい機会だと思い志願をしました。次に自分の将来の夢がエンジニアになる事で、英語圏の地域ではとても盛んな仕事であり学べる事を学ぼうと思います。



**【保護者代表ご挨拶】** 市川和美様



**【ご挨拶】** 軽井沢高校長 宮坂雅昭様

点鐘



**「親睦旅行(長瀬・秩父の夜祭)」**  
2019年12月3日